

特定施設 〔 設 置 使 用 〕 届出書

新設の場合は設置・既設で使用的場合は使用を選択

年 月 日

（あて先） 檀 原 市 長

住所 ○○市○○町○○番地

届出者 氏名 ○○株式会社
（代）

TEL — —

〔 氏名又は名称及び法人にあ
つては、その代表者の氏名 〕

下水道法 〔 第12条の3第1項（下水道法第25条の10において準用する同法第12条の3第1項）
第12条の3第2項（下水道法第25条の10において準用する同法第12条の3第2項）
第12条の3第3項（下水道法第25条の10において準用する同法第12条の3第3項） 〕

の規定により 〔 特定施設設置
特定施設使用 〕 について、次のとおり届け出ます。
上記選択と同様

工場又は事業場の名称	○○工業(株)○○工場	※整 理 番 号	
工場又は事業場の所在地	檀原市○○町○○番地	※受理年月日	年 月 日
特 定 施 設 の 種 類	66 電気めっき施設	※施 設 番 号	
△特 定 施 設 の 構 造	別紙(1)のとおり。	※審 査 結 果	
△特定施設の使用の方法	別紙(2)のとおり。	※備 考	
△汚 水 の 処 理 方 法	別紙(3)のとおり。		
△下水の量及び水質	別紙(4)のとおり。		
△用水及び排水の系統	別紙(5)のとおり。		

備 考

- △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- ※印の欄には、記載しないこと。
- 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A4とすること。

正本1部 副本1部提出

特定施設の構造等変更届出書

年 月 日

(あて先) 檀 原 市 長

住所 ○○市○○町○○番地

届出者 氏名 ○○株式会社
代表取締役○○ ○○

TEL

〔 氏名又は名称及び法人にあ
つては、その代表者の氏名 〕

下水道法第12条の4（下水道法第25条の18において準用する同法第12条の4）の規定により

特定施設設置の構造等の変更について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	○○株式会社	※整 理 番 号	
工場又は事業場の所在地	○○市○○町○○番地	※受理年月日	年 月 日
特 定 施 設 の 種 類	第○○号 ○○施設 (○○方法の変更)	※施 設 番 号	
△特定施設の構造（特定施設の使用の方法、汚水の処理方法、下水の量及び水質、用水及び排水の系統）	別紙のとおり。	※審 査 結 果	
		※備 考	

- 備 考
- △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
 - ※印の欄には、記載しないこと。
 - 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

公共下水道（流域下水道）使用開始届

年 月 日

（あて先） 檀 原 市 長

住所 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇

届出者 氏名 〇〇株式会社 （代） 〇〇

TEL - -

〔 氏名又は名称及び法人にあ
つては、その代表者の氏名 〕

次のとおり公共下水道（流域下水道）の使用を開始するので、届け出ます。

排 水 場 所	檀原市 〇〇町 〇〇番地	排 水 口 数	〇ヶ所
開 始 年 月 日	年 月 日	特定施設の種類	

備 考

1. 「特定施設の種類」の欄は、水質汚濁防止法施行令（昭和46年政令第188号）別表第一及びダイオキシン類対策特別措置法施行令（平成11年政令第433号）別表第二に掲げる号番号及び名称を記載すること。

特定施設設置（新設、変更）工事完了報告書

年 月 日

（あて先） 檀 原 市 長

住 所
届 出 者 氏 名

電 話

赤枠内を記入



特定施設設置（新設、変更）に係る工事を完了しましたので、報告します。

設置場所	
施設内容	
完了年月日	年 月 日
使用開始年月日	年 月 日
特定施設施工者	
排水設備施工者	

事務処理欄
（検査結果等）

特 定 施 設 の 構 造

号 番 号 及 び 名 称	66 電気めっき施設 脱脂槽	特定施設の種類と名称を記入	別の施設、既存施設があれば記入する
型 式	〇〇社製〇〇型〇〇式(浸漬式、電解式)	メーカー名や形式を記入	
構 造	鉄製ゴム内張	施設の主要部分を記入	
主 要 寸 法	〇mm×〇mm×〇mm	カタログの添付等	
能 力	最大 〇〇台／時間	最大能力を記入	
配 置	1基(新設or既設) 添付第1図のとおり	設置台数や新設・既設等を記入	
工 事 着 工 予 定 年 月 日	〇年〇月〇日		
工 事 完 了 予 定 年 月 日	〇年〇月〇日		
使 用 開 始 予 定 年 月 日	〇年〇月〇日	特定施設使用開始届出書の場合は使用開始年月日を記入	
そ の 他 参 考 と な る べ き 事 項	新製品Aの製造による業務拡張の ため、電気めっき新設(1基)	届出の内容の概要等を記入	

当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置図全体配置図に記入

記入上の注意

1. 「号番号及び名称」は、特定施設の番号ならびに特定施設を構成する各種装置を記入すること。
2. 「形式」、「構造」、「主要寸法」は、参考となる図面等を添付(添付第 号のとおり)すること。
3. 「能力」は、主な製品名、単位日・単位時間当たり製造または加工等ができる数量を記入すること。また、槽の場合は有効容量を記入すること。
4. 「配置」は、特定施設及び各種装置の配置図を添付(添付第 号のとおり)すること。
5. 「その他参考となるべき事項」は、特定施設及び各種装置の数その他必要事項を記入すること。

別紙(2)

特定施設の使用方法

号 番 号 及 び 名 称	66 電気めつき施設		
設 置 場 所	添付第2号のとおり	全体配置図に記入	
操 業 の 系 統	添付第3号のとおり	フローシートを添付する	
使 用 時 間 間 隔	9:00～17:00	施設の使用時間帯を記入	
使 用 の 季 節 的 変 動 の 概 要	なし	季節によって時間帯や材料に変動がある場合は記入	
1 日 あ た り の 使 用 時 間	連続8時間	実稼働時間を記入	
使 用 原 材 料	98%硫酸、硝酸 中性洗剤、マケイ酸ソーダ	すべての工程作業について記入	
使 用 方 法	酸洗い 洗浄	すべての工程作業について記入	
1 日 あ た り の 使 用 量	98%硫酸〇kg、硝酸〇kg、中性洗剤〇L、マケイ酸ソーダ〇kg		
そ の 他 参 考 と な る べ き 事 項	硫酸は補充のみ		

記入上の注意

- 1.「設置場所」、「操業の系統」は、配置・系統図を添付(添付第 号のとおり)すること。
- 2.「その他参考となるべき事項」は、特定施設及び各種装置の数その他必要事項を記入すること。

汚水等の処理の方法

処理施設の設置場所	添付第2号のとおり	全体配置図に記入
工事着工予定年月日	〇年〇月〇日	
工事完了予定年月日	〇年〇月〇日	
使用開始予定年月日	〇年〇月〇日	特定施設使用開始届出書の場合は使用開始年月日を記入
種類及び形式	〇〇型連続自動式	名称を記入
構造	添付第4号、4-表のとおり	別紙の処理施設図を添付
主要寸法	添付第〇号のとおり	二次製品であればカタログを添付
能力 (m ³ /日)	〇〇	最大処理能力を記入
処理の方法	中和凝集沈殿法	処理方法の名称を記入
処理の系統	クロム系排水は還元処理後、酸・アルカリ系排水と合せ水酸化物とし、凝集剤にて重金属水酸化物を凝集沈殿。上澄液は中和、放流する。シアン系… 添付第5号のとおり	別紙の処理系統図を添付
集水及び導水の方法	添付第2号のとおり	
処理施設の名称	中和凝集沈殿処理施設	
使用時間間隔	10:00～18:00	施設の使用時間帯を記入
1日あたりの使用時間	8時間	実稼働時間を記入
使用の季節的変動の概要	なし	

◎ 汚水等の処理施設に使用する消耗資材の1日当たりの用途別使用量

処理施設の名称	中和凝集沈殿処理施設	
消耗資材名	苛性ソーダ、〇〇	処理施設で使用する消耗資材について記入
消耗資材量 (/日)	〇〇Kg/日、〇〇L/日	処理施設で使用する消耗資材について記入
用途別	中和、〇〇	処理施設で使用する消耗資材について記入

◎ 汚水等の処理によって生ずる残さの種類及び1月間の種類別生成量並びにその処理方法

処理施設の名称	中和凝集沈殿処理施設	
残さの種類	重金属含有汚泥、濃厚廃液	
生成量 (t / 月)	重金属含有汚泥〇〇Kg/月(含水率□%)、 濃厚廃液〇〇Kg/月	
処理方法	〇〇会社に処理を委託	業者委託の場合は委託契約書の写しを添付
排出水の排出方法	添付第2号のとおり	
その他参考となるべき事項	ポリ袋詰でドラム缶に保管、回収タンクに保管	

記入上の注意

1. 「排出水の排出方法」の欄には、排水口の位置及び数並びに排出先を含めて、系統図を添付
(添付第 号のとおり)すること。

別紙(3-2)

◎ 汚水の処理施設の使用時における当該汚水の処理施設による処理前の汚水の水質の通常値及び最大値並びに当該汚水の通常量及び最大量

[illegible]

別紙(3-3)

◎ 汚水の処理施設の使用時における当該汚水の処理施設による処理後の汚水の水質の通常値及び最大の値並びに当該汚水の通常量及び最大の量

施設名				水量・水質		処理後汚水量 (m³/日)		処 理 後 水 質																							
								pH		BOD (mg/L)		COD (mg/L)		SS (mg/L)		ノルマルヘキサン抽出物質含有量		窒素含有量 (mg/L)		燐含有量 (mg/L)		よう素消費量 (mg/L)		カドミウム (mg/L)		シアン (mg/L)					
																鉱油類 (mg/L)	動植物油脂類 (mg/L)														
通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大				
除害施設				7.0	10.0	6.5 ～ 7.8	6.0 ～ 8.0			10.0	20.0	2.0	5.0	1.0	4.0			50.0	###	5.0	10.0			<0.02	<0.02	0.20	0.50				
有機燐 (mg/L)		鉛 (mg/L)		六価クロム (mg/L)		砒素 (mg/L)		水銀 (mg/L)		アルキル水銀 (mg/L)		ポリ塩化 ビフェニル (mg/L)		トリクロロ エチレン (mg/L)		テトラクロロ エチレン (mg/L)		ジクロロ メタン (mg/L)		四塩化炭素 (mg/L)		1,2-ジクロロ エタン (mg/L)		1,1-ジクロロ エチレン (mg/L)		シス-1,2-ジクロ エチレン (mg/L)		1,1,1-トリクロ エタン (mg/L)			
通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大		
1,1,2-トリクロロ エタン (mg/L)				1,3-ジクロロ プロペン (mg/L)		チウラム (mg/L)		シマジン (mg/L)		チオベン カルブ (mg/L)		ベンゼン (mg/L)		セレン (mg/L)		ほう素 (mg/L)		ふっ素 (mg/L)		フェノール類 (mg/L)		銅 (mg/L)		亜鉛 (mg/L)		溶解性鉄 (mg/L)		溶解性マンガ ン (mg/L)		クロム (mg/L)	
通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
																		3.0	5.0			<0.50	<0.50	0.50	1.0	0.50	1.0			0.50	1.0
ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)		ニッケル (mg/L)																													
通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
		0.2	0.5																												
設計計算で予想される水量及び水質の通常値と最大値を記入 水量は前項と同じ値を記入																															

◎ 特定事業場の排水口における排出水の汚染状態

施設名 水量・水質						排水量 (m³/日)		水 質																							
								pH		BOD (mg/L)		COD (mg/L)		SS (mg/L)		ノルマルヘキサン抽出物質含有量 鉱油類 (mg/L) 動植物油脂類 (mg/L)		窒素含有量 (mg/L)		燐含有量 (mg/L)		よう素消費量 (mg/L)		カドミウム (mg/L)		シアン (mg/L)					
						通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大		
排水口A(工業系)						7.0	10.0	6.5 ~ 7.8	6.0 ~ 8.0			10.0	20.0	2.0	5.0	1.0	4.0			50.0	###	5.0	10.0			<0.02	<0.02	0.20	0.50		
排水口B(生活系)						0.5	1.0	6.5 ~ 7.5	6.0 ~ 8.0	生活系は水量だけを記入																					
有機磷 (mg/L)		鉛 (mg/L)		六価クロム (mg/L)		砒素 (mg/L)		水銀 (mg/L)		アルキル水銀 (mg/L)		ポリ塩化 ビフェニル (mg/L)		トリクロロ エチレン (mg/L)		テトラクロロ エチレン (mg/L)		ジクロロ メタン (mg/L)		四塩化炭素 (mg/L)		1,2-ジクロロ エタン (mg/L)		1,1-ジクロロ エチレン (mg/L)		シス-1,2-ジクロ エチレン (mg/L)		1,1,1-トリクロ エタン (mg/L)			
通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
				0.10	0.20																										
						設計計算で予想される水量及び水質の通常値と最大値を排水口ごとに記入																									
1,1,2-トリクロロ エタン (mg/L)		1,3-ジクロロ プロペン (mg/L)		チウラム (mg/L)		シマジン (mg/L)		チオベン カルブ (mg/L)		ベンゼン (mg/L)		セレン (mg/L)		ほう素 (mg/L)		ふっ素 (mg/L)		フェノール類 (mg/L)		銅 (mg/L)		亜鉛 (mg/L)		溶解性鉄 (mg/L)		溶解性マンガ ン (mg/L)		クロム (mg/L)			
通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
																3.0	5.0			<0.50	<0.50	0.50	1.0	0.50	1.0			0.50	1.0		
ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)		ニッケル (mg/L)								その他参考事項																					
通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	参考になる事項があれば記入																					
		0.20	0.50																												

別紙(5)

用 水 及 び 排 水 の 系 統

◎ 用水及び排水の系統(添付第 2 図)のとお

…全体配置図に用水と、含油排水系・生活排水系・雨水系を色分けして記入

◎ 用途別用水使用量及び排水量(単位:m³/日)

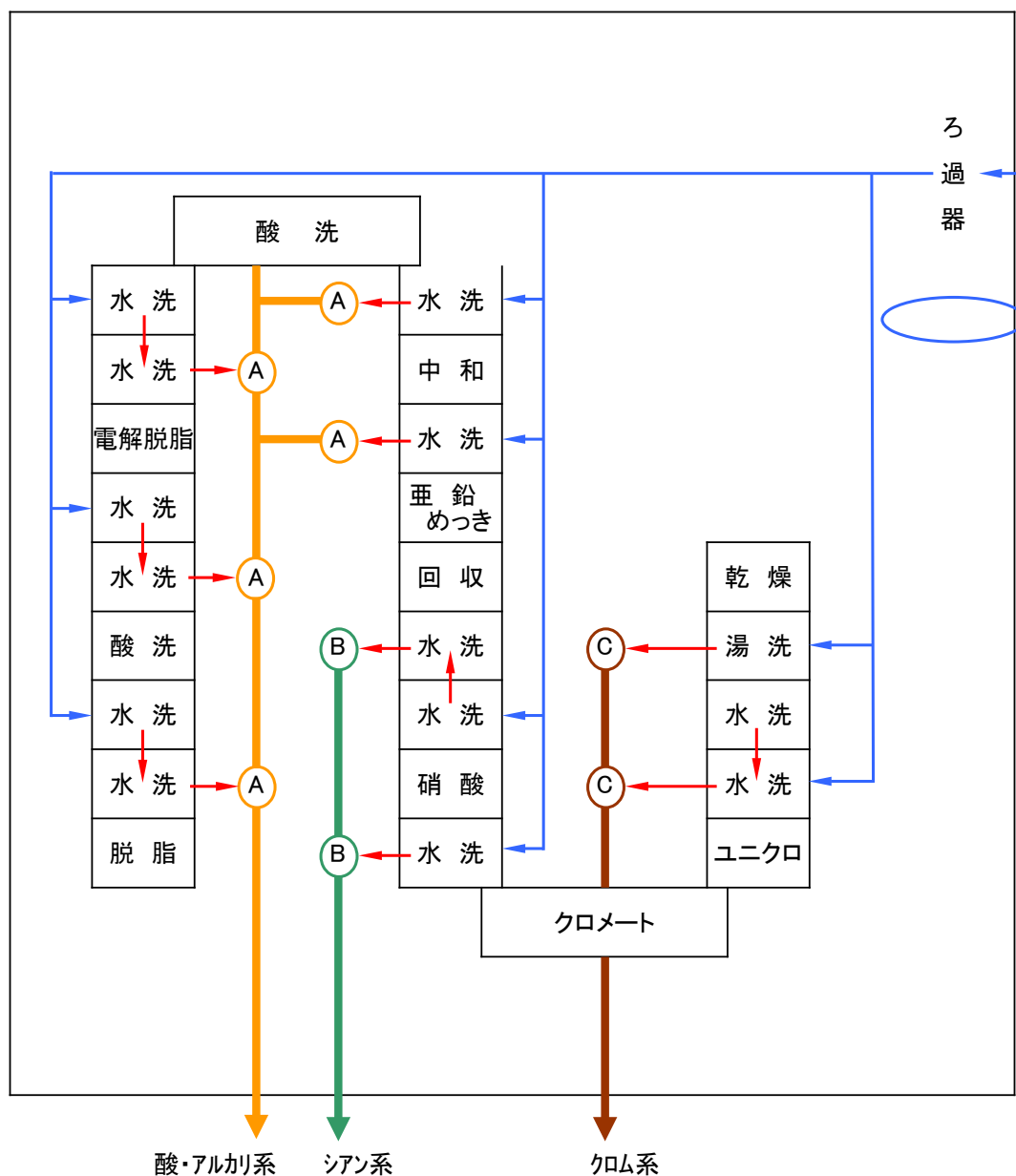
…別紙(3-2)、(3-3)、(4)の通常排水量とあわせる

	上水道	工業用水道	地下水	循環用水	その他	計(用水)	計(排水)	備 考
ボイラー用水	2.0					2.0		添付第6図参照
原料用水								
冷却水(間接)	3.0			4.0		7.0	3.0	
冷却水(直接)								
メッキ用水	7.0					7.0	7.0	
酸、アルカリ 洗浄用水								
その他洗浄用水								
生活用水	0.5					0.5	0.5	
その他								
合 計	12.5			4.0		16.5	10.5	

添付第1図

○ 主要機械または装置の配置(別紙1)

めっき工場(特定施設)



(注意) ・排水別に色分けすること。

A → 酸・アルカリ系排水

B → シアン系排水

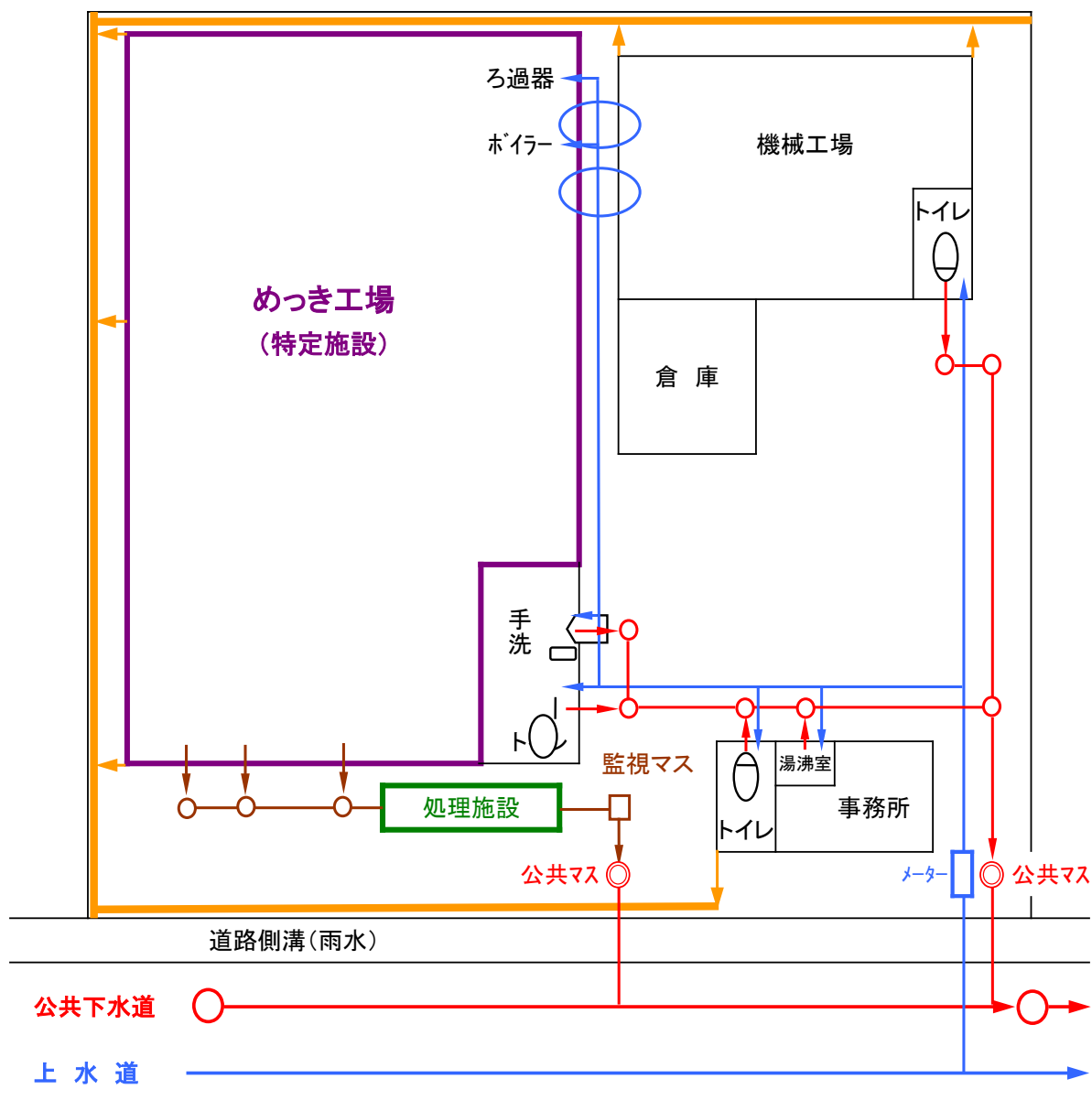
C → クロム系排水

排水の流れ(赤色) →

用水の流れ(青色) →

添付第2図

- 特定施設の設置場所(別紙2)
- 汚水等の処理施設の設置(別紙3-1)
- 汚水の集水および処理施設までの導水方法、公共下水道への排出方法(別紙3-1)
- 用水および排出の系統(別紙5)



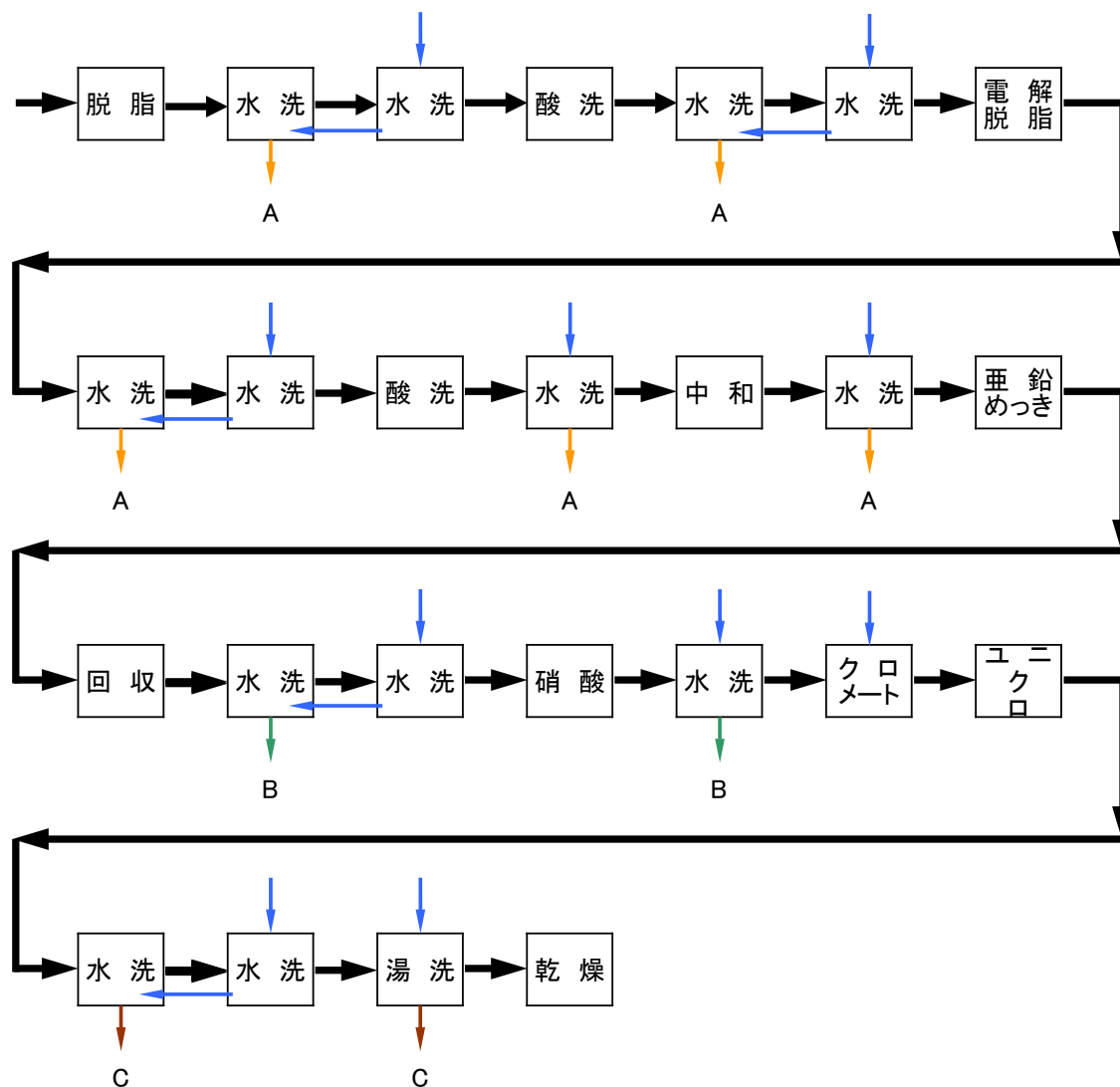
生活排水(赤色)	→	用水(青色)	→	特定施設(紫色)	▭
工程排水(茶色)	→	雨水排水(橙色)	→	除害施設(緑色)	▭

(注意)

- ・排水別に色分けすること。
- ・生活排水(トイレ、手洗い等)の設置場所を記入すること。
- ・雨水排水系統も記入すること。

○ 特定施設を含む操業の系統(別紙2)

作業の工程 →



用水 →

酸・アルカリ系排水 →

シアン系排水 →

クロム系排水 →

A 酸・アルカリ排水

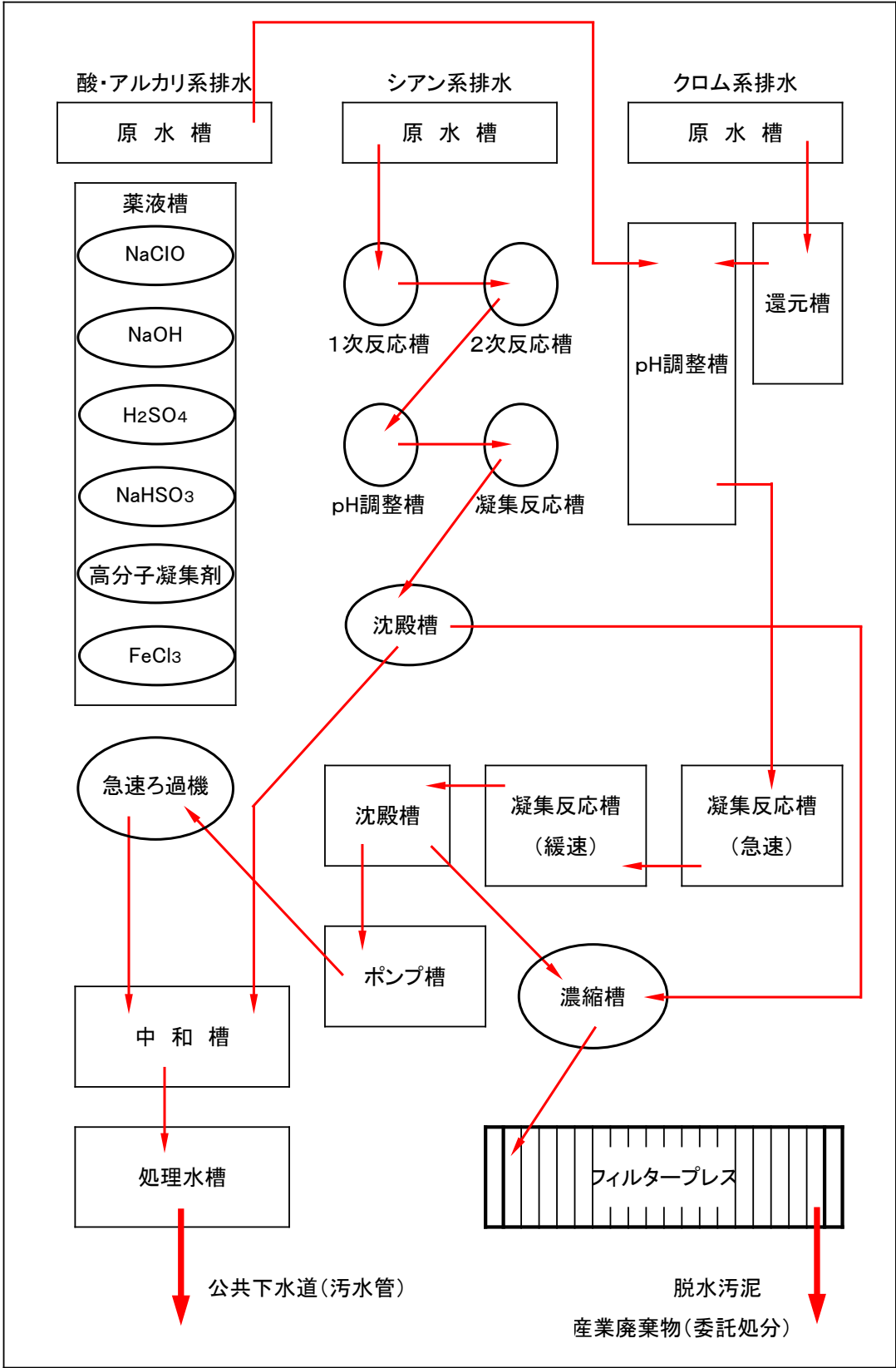
B シアン排水

C クロム排水

(注意) 用排水別に色分けすること。

(例) ・用水(青) ・酸アルカリ系(橙) ・シアン系(緑) ・クロム系(茶)

○ 処理施設(除害施設)の平面図(別紙3-1)



(注意) 処理の流れを赤矢印で記入する。寸法等については、別紙を添付する。

添付第4図-表

○ 処理槽の容量

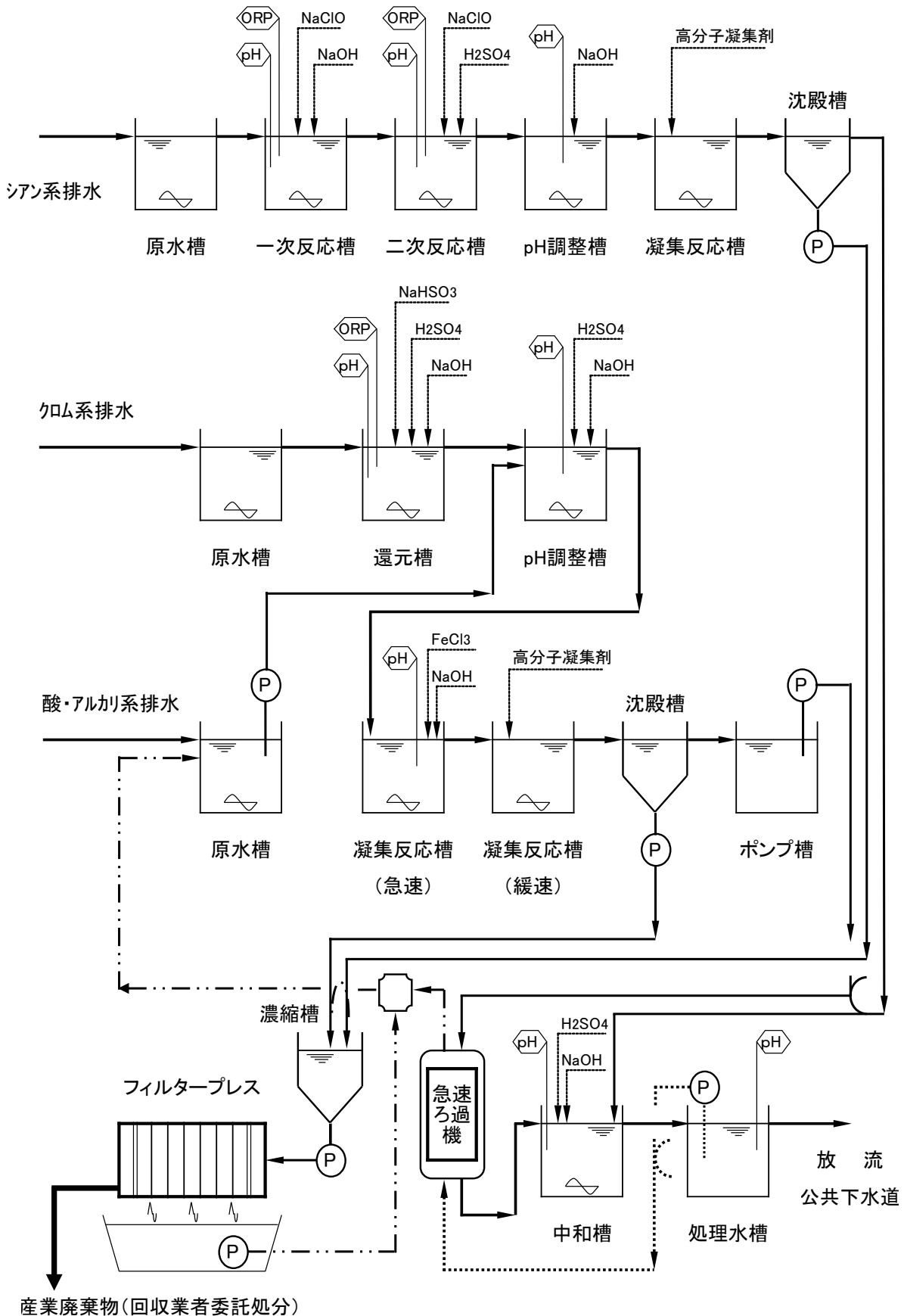
(注)表の容量は例です。

名 称		容 量(m ³)	滞 留 時 間	主 な 付 属 機 器
酸・アルカリ系原水層		3	1日分	ポンプ・水位計
シアン系	原 水 層	1	1日分	ポンプ・水位計
	一 次 反 応 槽	0.1	28分	攪拌装置・pH計・ORP計
	二 次 反 応 槽	0.2	50分	攪拌装置・pH計・ORP計
	p H 調 整 槽	0.1	20分	攪拌装置・pH計
	凝 集 反 応 槽	0.1	13分	攪拌装置
	沈 殿 槽	0.5	5時間	
クロム系	原 水 層	1	1日分	ポンプ・水位計
	還 元 槽	0.1	12分	攪拌装置・pH計・ORP計
	p H 調 整 槽	0.1	20分	攪拌装置・pH計
	凝 集 反 応 槽	0.1	12分	攪拌装置
	沈 殿 槽	0.5	5時間	
ポ ン プ 槽		1	10分	
中 和 槽		1	30分	攪拌装置・pH計
処 理 水 槽		1	18分	pH計
濃 縮 槽		2	2日	ポンプ
フ ィ ル タ ー プ レ ス		3 m ²	必要時	ろ過面積

添付第5図

○ 排水処理の系統図(別紙3-1)

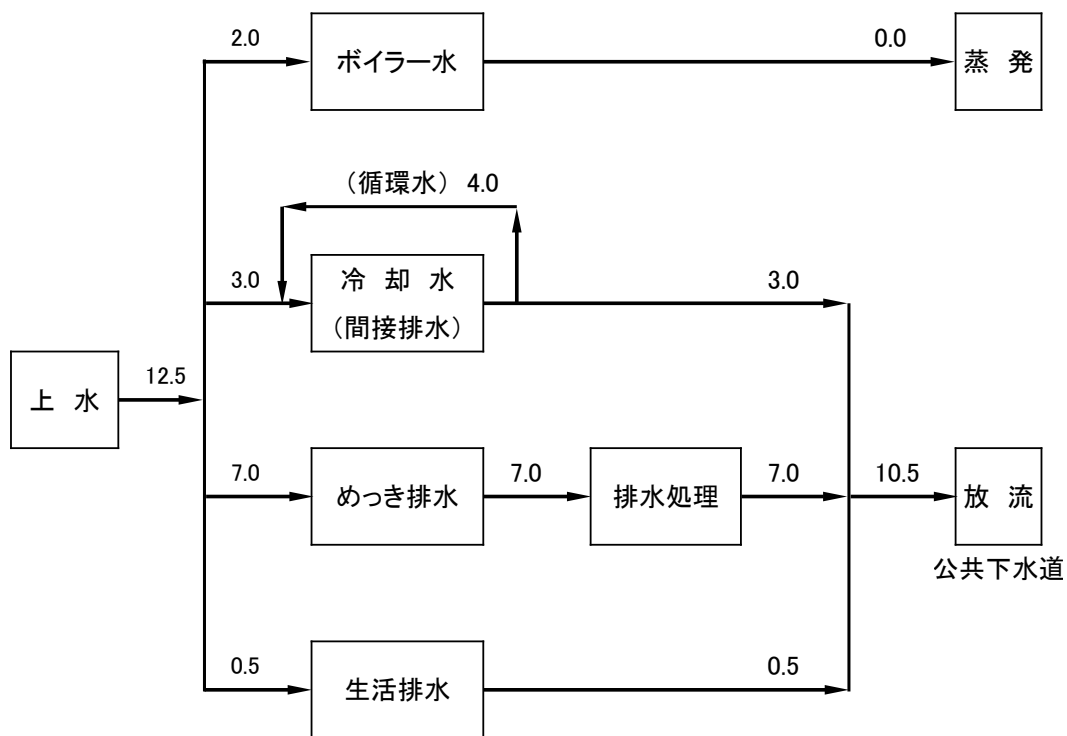
(例) ———→ 排水・汚泥 - - - -> 返流水
→ 逆洗用水 ———→ 産廃



添付第6図

○ 用排水の系統図(別紙5)

用排水量(単位:m3/日)



(注意)

水量を記入し、用排水量とあわせること。(別紙5図参照)